

⑩私の伝えたいこと

QUANG THI CUONG (クオン ティ クオン) / ベトナム

本日お話ししたいのは、私自身が大学でショックを受けた話です。これは異文化の問題だと思えます。

今年の春学期に観光マーケティングという授業を受けました。本当に興味がある授業ですからマーケティングに関する言葉が難しくても頑張っていました。担当の先生も分かりやすく、優しく、熱心で授業は進んでいました。

授業の後半は留学生と日本人学生がグループになってプレゼンテーションをするという形でした。私のグループは全部で5人いました。留学生が2人で日本人学生が3人いました。この3人はいつもグループになって遊んでいるので、かなり仲が良いのだと思いました。授業では、最初に一人ずつ自己紹介をしました。グループ皆明るくて可愛かったです。自己紹介が終わって、次にグループワークに取り組みました。テーマは“千葉県または茨城県の資源を探し出しお土産品を考える”でした。まず“千葉県がいいか茨城県がいいか”と話し合いました。みんな千葉県に住んでいて、千葉県産のことをよく知っているので、あっさり千葉県に決まりました。それから各自で情報を探し始めました。何故かこの辺りから、グループは冷たい雰囲気になりました。私も“千葉県なら、松戸市の梨がいいかもね”、“落花生とかもいいね”皆どう思う?”と自分の意見を言いましたが、日本人学生は“うんーいいね”と言うなり下を向いてスマホを見ている。留学生と日本人学生は二つのグループに分かれ、日本人学生は私たち留学生と話さず3人だけで話しているのです。私も嫌になってきましたがもう一人の留学生は一生懸命話しかけました。「今は何を考えている?」、「まずは資源を決めた方がいいね」と言いましたが、3人の日本人の学生からの反応は“うんーそうね”と言ってまた下を向いてスマホを弄ります。そして、この留学生も嫌になって“なんで私たちと話さないの? 私たちだけ話しかけるのをバカみたい”と言って、日本人学生の冷たい態度が非常にショックでした。そこで、私はどうすればいいのかを考えた末に担当の先生に相談しに行きました。先生は優しく相談に乗ってくださいました。“もしかしたら初めてだから皆恥ずかしいのじゃないかな、ちょっと頑張ってみたら”と先生が言いました。だから、私たちも次回はもっと頑張ってみることにしました。

帰ってからも“自分の日本語が上手く伝えられないのかな”、“恥ずかしいから話したくないのかな?”などずっと考えました。

次の授業に担当の先生がわざわざ“共通点を探そう!”というゲームを行いました。

時間内に共通点を多く出したチームが勝つというルールでした。そこで自分から“皆音楽好き”と話しかけました。グループの皆も“皆2年生”、“メイク好き”、“料理好き”、“韓国のドラマ見ている”と次々と言い出しました。時間になって“共通点が12点以上のチームはありますか?”と先生が聞きました。私たちも数え始めました、“あー12だ”と私は手を挙げました。共通点12点で私たちのグループは勝ちました。

その時にコンビニで一緒に働いている女子高校生の話を思い出しました。私が“大学で日本人の友達がいらないよ”と言ったからです。その子から“日本人の女の子はいつもグループになって遊ぶから、もし話したいなら皆の好きなメイクの話をするとか、何か共通点を探して話せばいいんですよ”と話してくれました。担当の先生もそう思ったからゲームを行ったのだと思いながら、先生の優しさを感じました。しかし、私たちと日本人の学生の話はそこで終わりました。授業の最初から最後まで全く沈黙の状態でした。結局グループを変えて課題を行いました。

以上の話から私たち留学生は日本人のことや日本の文化が好きという理由で日本に留学して来ている人が多いですが、日本語と日本の文化もさる事ながら日本人との付き合い方をもっと知っておいた方がいいと思います。一方日本人学生にもいろいろな国の学生ともっと積極的にグループワークに取り組んでほしい、私たちの意見を聞いてほしい、私たちの努力を認めてほしいと思います。

私はこれからも一生懸命頑張るので、宜しくお願いします。仲良くしていきましょう。